

やすだ ひろゆき
薬物治療学分野 助教 安田 浩之
『Your Brain Is a Time Machine
脳と時間—神経科学と物理学で解き明かす』
ディーン・ブオノマーノ (原著) 村上 郁也 (訳)
森北出版 (2018年)

楽しい時間は過ぎていくのが早く感じますが、待ち時間や暇な時間は長く感じる場合があります。時間のスピードは一定のはずなのに、自身が感じる時間のスピードは状況によって異なり、こういった心的状況は皆さんも経験があると思います。しかし、なぜそう感じるかを具体的に考察したことはないでしょう。時間とは何か？本書は、この純粋な問いに対し、神経科学と物理学の観点から明らかにしていく内容となっています。



「タイムマシン」と聞いてまず思うのは、SF映画などでよく観る時間旅行のことだと思います。しかし、

「タイム・マシン」と区切れば、時間を様々に処理する装置と考えることができます。特に私が印象に残っている内容は、「脳は、時間を知ることができ、時間の知覚を生み出し、未来を予測するために過去を記憶し、その働きによって心的に時間を行き来することができる」です。脳は「タイム・マシン」であり、物理的な時間旅行はできないものの、ある種の「タイムマシン」と考えることができます。別の角度からになりますが、近年、生物の活動周期は地球の自転周期と同調しており、概日リズムと呼ばれています。生体内では、この概日リズムを司る時計遺伝子の転写や翻訳フィードバックが約24時間のリズムで生じています。概日リズムの破綻は、睡眠障害や高血圧の疾患を引き起こすだけでなく、薬剤の代謝などにも影響を及ぼす可能性があります。

このように、時間とは何か？という問いに対し、いくつもの答えが存在しますが、その全ては未だ解明されていません。時間とは、英語の最頻出名詞でありながら、知っているようで、明確な答えを誰も知らない身近にあるものです。時計の秒針を見て、見るタイミングによっては時が止まったかのように感じることもあるかと思います。このような当たり前と思う疑問を疑問のまま残すのではなく、内容は少し難しいですが、時間があるときに、時間を忘れて、「時間」を知るのはいかががでしょうか。

にしむら ひろよ
事務局 進路支援課 西村 裕世
『透明な地図』
原田宗典 著
東京FM出版 (1998年)
※現在は絶版

皆さんは、海外旅行は好きですか？

私がこの本に出合ったのはFM-TOKYOで放送されている「JET STREAM」という番組が関係します。番組のコンセプトは「パーソナリティを“機長”に見立て、異国情緒溢れる音楽と情感たっぷりのナレーションで、海外旅行の魅力をリスナーに伝える」こと。当時の機長は城達也さん。ちなみに現在は福山雅治さんです。



毎週金曜日に番組で、城さんが原田さんの書いたショートストーリーを読んでおられました。異国の地で遭遇するちょっと不思議な海にまつわる12の物語。この「透明な地図」を紹介された時、私はすぐに本屋に買いに行ったのを覚えています。山口昌弘さんの写真がとても綺麗で、色んな背景が浮かび余韻に浸れる写真集ともいえる本です。

私はその中でも「願いをひとつ」という物語が印象に残っています。ある男が、机に向かってしていると、背後に気配を感じました。そこにはウェットスーツを着て、酸素ボンベを背負ったずぶ濡れの人が立っていました。ビックリしたのは自分だけでなく、その謎の人も同じでした。なんとその人は昔の古い友人でした。お互いに不思議に思いながらも久々の再会を喜び合いました。男は、なぜここにいるのかを尋ねました。友人はサイパンの海でダイビング中にサメに遭遇し、隠れていたけど酸素が無くなりそうになり、苦しくなってきた。その時に死にたくない！と強く願ったら、なぜかココに立っている。と伝えました。

こんな不思議な話があるのかと思っていたところ、男が友人にある一言を伝えました。すると突然友人は忽然と消えてしまいました。夢かな？と思いましたが、部屋には水たまりが・・・。友人はどうなってしまったのでしょうか。

奇妙な体験、ゾクッとくる怖い話を集めており、ショートストーリーなのですぐに読める一冊です。この幻想的な本を読んで、海外気分をぜひ味わってください。

心を落ち着けて、静かな場所で読んでいただきたい作品です。現在は絶版となっていますが、『旅の短編集』で一部ご覧いただけます。